

特別講演会

大地が示す地域の履歴 ～地域の資源学・資料学に向けて

日時：2019年2月21日（木）16：15～17：45

場所：横浜国立大学
理工学部講義棟 A-107
(建物番号 S5-7)

1. 特別講演

「大地が示す地域の履歴」

小長井 一男 氏

(横浜国立大学元教授/国際斜面災害研究機構学術代表)

文系・理系を問わず、研究者が地域に関わりながら取り扱う研究資料を、すべて「地域資源」または「地域資料」として位置づけてみる。こうしたとらえ方は、専門分野の枠を超えた研究者相互の交流や対話を促すだけでなく、大学での研究成果を地域に還元するためにも、重要な意味を持つのではないのでしょうか。

「地域の資源学・資料学」をめざす試みの第1回として、本日は、地盤工学の立場から<地域の履歴>を見つけ出す方法やその意味、こうしたアプローチの現状と課題などについて広くご講演いただきます。

2. 「地盤工学」と「地域史」の対話

聞き手：横浜国立大学 教育学部 教授 多和田 雅保

地域史を専門とし、地域資料保全活動に取り組む多和田教授が小長井先生に質問する形で議論を進めます。